

第70回全国高等学校剣道大会大阪府予選
第61回近畿高等学校剣道大会大阪府予選
ガイドライン

※以下の記載事項は、個人試合・団体試合に共通します

【大会に参加するにあたって】

- 水分補給及び食事をする時は周囲と距離を取り、対面を避け黙食してください。
- ゴミ等は、各自で必ず持ち帰ってください。
- 応援は拍手のみとします。
- 大会当日、会場にて体調不良者が出た場合は、顧問は速やかに本部へ報告してください。
- 更衣に関しては密にならないよう、お互い譲り合いに協力してください。
- 大会運営に関して連絡事項が追加される場合があります。
追加事項がありましたら、随時、高体連剣道専門部 HP に掲載します。大会当日まで必ず HP の確認をお願いします。

【体育館入場について】

- 体育館への入館については制限を設けません。
- 会場への送迎の際、降車は道路では行わず、駐車場内で行ってください。近隣からの苦情の原因となります。
体育館併設駐車場は最初の30分まで無料です。周知徹底をお願いいたします。
- 体育館に入る際は密にならないよう各学校で注意してください。入館後は人と人との距離の確保、手指の消毒、こまめな手洗い、を励行してください。
- 9:00 開館。10:00 開会を予定しています。
- アップについては、時間と場所は指定しません。
- 各校顧問は開会式が始まるまでに受付を済ませてください。
受付は高体連番号で分けて、ブースを準備しています。
A (101~280) B (281~600) C (601~650) D (651~)
- 昨年まで感染対策として提出をお願いしてきた「体調に関する確認票」は必要ありません。入館者の体調は顧問の先生が把握をお願いします。今大会より、参加人数確認のための「大会参加者調査票」を各自で事前にダウンロードのうえ、大会当日に必要事項記入の上提出いただくこととなります。

【開会式・閉会式について】

- 開会式は、参加選手全員で実施します。各学校前後左右の間隔をとって整列してください。
- 閉会式は、参加希望の学校で実施します。
- 受付時にお渡しした顧問章は大会本部席まで返却してください。
- 男女団体試合の開会式には代表が受付で配布したパンフレットと筆記具を持って集合すること。

【試合運営】

○今年度運営要綱の記載事項に則って行います。

(8:45より竹刀検量を開始するので、混雑を避けて受けるよう顧問からの指示をお願いします)

○マスクの着用について

選手はマウスシールド（マウスガード）を必ず着用し。面マスクの着用は個人の判断とする。

マウスシールドがない状態で試合が始まった場合、原則、反則負け（不正用具の使用）とする。

審判員は、マスクを着用しない。ただし控室等でのマスクの着用は個人の判断とする。

大会役員・補助役員・観客等のマスクの着用は個人の判断とする。

○選手はつば（鏝）競り合い等、相手と接近している時の発声は控えてください。

○審判員はできる限り自分の審判旗を持参してください。

○審判打ち合わせは、9:30より多目的ホールにて実施いたします。

○審判は、個人試合では5試合ごと（不戦試合を除く）、団体試合では1試合ごとに交代します。

○記録、掲示、計時は各試合場、補助役員生徒が担当します。

○フロア内での、ビデオ・写真撮影は、厳禁とします。

○サブアリーナの使用は12:30までとします。

○団体試合における4人チーム3人チームと対戦する際の運用については、以下のとおりとします。

・4人チームは「次鋒・中堅・副将・大将」、3人チームは「中堅、副将、大将」に選手を登録する。

・大会当日や大会中にやむを得ない理由（怪我・病気等）で選手が5人及び4人揃わない場合は、4人または3人による後ろ詰めでの試合を認める。

その際は、試合前に審判主任（本部）へ申し出て、4人及び3人チームのオーダーに変更する。

・5人及び4人のチームが4人及び3人のチームと対戦する場合は、登録選手の中で不戦勝ちの選手を試合前に決定できる。

ただし、人数の多いチームは、オーダー順を変更してはならない。

例) A高校5名（先鋒から一村 二田 三井 四谷 五島） vs B高校3名チームとの対戦

二田と五島が不戦勝ち、一村が中堅、三井が副将、四谷が大将と対戦 → ○ オーダー順通り

二田と五島が不戦勝ち、三井が中堅、四谷が副将、一村が大将と対戦 → × オーダー順通りでない

・対戦校より人数の多いチームは、「オーダー提出用紙」を1試合前までに試合場の審判主任に提出すること。

・不戦勝ちの選手は、団体立礼後まず不戦勝ちの宣告を受ける。

例) 3人チームと対戦する際、5人揃うチームが副将・大将を不戦勝ちとする場合。

相互に礼の後、副将・大将が不戦勝ちの宣告を受ける。その後、後ろ詰めでの対戦となる。

この場合は整列時、[副将・大将・先鋒・次鋒]の4人が面を付けた状態で整列をすることになる。

【大会が実施されなかった場合(中止となった場合)の連絡方法と、参加費の取り扱いについて】

○大会中止の場合は、高体連剣道専門部HPに掲載します。出場校への個別連絡は行いません。

○返金対応についてはHPに掲載しますので、領収書をなくさずに保管しておいてください。